

砂防だより



春光に輝く(岩本山)

新年度のご挨拶	2
平成27年度の行事予定	3
土砂災害防止月間	
平成27年度砂防関係当初予算	4
あなたのまちの安全度	6
土砂災害に対する警戒避難体制整備促進の取り組み	8
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	10
わがまち(牧之原市・東伊豆町)	12
インフォメーション	13
募集・お知らせコーナー	16
土木事務所企画班砂防担当者の紹介	

速報 平成27年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰



全国治水砂防協会静岡県支部

新年度の御挨拶

新緑の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から砂防関係事業の推進に対しましては御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、7月の長野県南木曾町梨子沢や8月の広島県広島市における激甚な被害を始め、全国で1,184件の土砂災害が発生しました。また、9月には長野県・岐阜県境の御嶽山の噴火により多くの方が犠牲となっております。

本県では、10月の台風18号などにより75件の土砂災害が発生しましたが、このうち、25箇所で既設の擁壁などの防止施設により、土砂や倒木から人家を保全する施設効果を発揮いたしました。また、ハード対策とともに、土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策を推進する総合的な土砂災害対策を進めております。昨年度末で指定の対象となる15,193箇所の土砂災害危険箇所のうち、11,626箇所約77%の指定を完了しました。

広島市で発生した土砂災害を受けて、「土砂災害防止法」の一部改正が施行されたことにより、県には基礎調査結果の公表等、市町には警戒避難体制の確実な整備等が、義務付けられるなど、今後一層の取組みが求められております。

県といたしましては、土砂災害から人的被害を防ぎ、安全で安心して暮らせる社会を実現するため、「土砂災害による死者数毎年0人」を目指して、整備効果の高いところからハード整備を進めるとともに区域指定の推進、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などを支援する土砂災害警戒情報等の発表、基礎調査結果や危険箇所図等のインターネットによる公表、県民への防災知識の普及などに取り組んでまいります。

平成27年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

後藤 森平

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-
FAX 054-221-3564

※課内の組織・配置の変更により、電話番号が変更されました。

河川砂防局技監

後藤 森平

☎3040

砂防課長

八木 正道

☎3382

課長代理

村松 武馬

☎3382

- 課長の代理
- 砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

副班長 大野 正敏 ● 県単砂防事業 ● 災関砂防事業 ● 砂防指定地の指定	マイクログ 342	班 長 西川 茂 ● 砂防班の総括 ● 直轄砂防事業の調整
主 査 三谷 真史 ● 補助砂防事業 ● 砂防技術基準 ● 警戒区域の係争案件	☎3041	主 査 小沼 佳記 ● 避難体制整備促進 ● 土砂災害防止法に係わる 開発許可(技術面の審査)
技 師 杉山 隆太 ● 演習場周辺地区障害防止事業 ● 基礎調査 ● 警戒区域の指定	土砂災害 110番 ☎3044	技 師 井出 宗一郎 ● 基礎調査結果の公表 ● 砂防課公式サイトの管理 ● 土砂災害防止の啓発

傾斜地保全班

班 長 杉山 一仁 ● 傾斜地保全班の総括 ● 直轄地すべり事業の調整	マイクログ 341	主 査 井上 泰孝 ● 地すべり事業(国交) ● 地すべり事業(農地) ● 災関地すべり事業(国交・農地) ● 地すべり区域の指定(国交・農地)
主 任 鈴木 隆明 ● 補助急傾斜地事業 ● 災関急傾斜地事業 ● 急傾斜地崩壊対策の技術基準	☎3043	主 査 和田 直樹 ● 地すべり事業(林野) ● 災関地すべり事業(林野) ● 県単急傾斜事業 ● 地すべり区域の指定(林野)
技 師 小田 匠 ● 土砂災害警戒情報 ● 情報基盤整備事業 ● 急傾斜地の指定 ● 土砂災害防止月間等	土砂災害 110番 ☎3042	砂防協会 望月 紀江 ● 砂防協会関係の 事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、

河川砂防管理課 ☎3028 (課長)柳本 仁

「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理班 ☎3034 (班長)鍋田航平 (主査)田中宏和 (主事)山本貴之

※水防に関する事、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関する事については、

土木防災課 ☎3033

同室内にある「土木防災課」で担当します。

【平成27年度の行事予定】

月 日	時刻	活 動	会場等
4月 17日(金)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
5月 26日(火)	14:15	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
// 26日(火)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成27年度(第70回)通常総会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
// 28日(木)	11:00	(一社)全国治水砂防協会平成27年度(第79回)通常総会	砂防会館(東京都)
6月 1日(月)~7日(日)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(月)~30日(火)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 7日(日)		土砂災害に対する全国統一防災訓練	静岡県内各地
// 27日(土)		みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催	青葉シンボルロード(静岡市)
8月27日(木)~29日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	鹿児島県
10月 下旬		東海地区砂防協会支部長・砂防課長合同会議	静岡県
11月 上旬		市町等砂防担当職員研修	静岡県内
// 26日(木)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中旬		第56回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間

6月1日(月)▶30日(火)

6月1日(月)▶7日(日)

土石流、地すべり、がけ崩れなどによる土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、県民に土砂災害防止について理解と関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会を実施しています。

行 事 予 定

- 6月1~30日 急傾斜地パトロール(重点実施)
- 6月 7日 土砂災害に対する全国統一防災訓練
- 6月 27日 みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催(青葉シンボルロード)
- 6月1日~9月15日 「土砂災害防止に関する絵画・作文」の作品募集



みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の様子

平成27年度

当初予算

砂防関係
予算

98億5,564万円余

平成27年度当初予算が平成27年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆2,397億円で、前年度に比べ595億円の増、対前年度比105.0%でした。

砂防関係事業の予算総額は98億5,564万円で、前年度より約2億3,000万円の増、対前年度比100.2%となりました。主な内訳は次のとおりです。

① 一般公共事業 67億700万円(前年度当初比100.1%)

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

② 県単独事業 20億3,400万円(前年度当初比103.0%)

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、局地豪雨緊急対策、緊急輸送路関連土砂災害対策等を実施します。

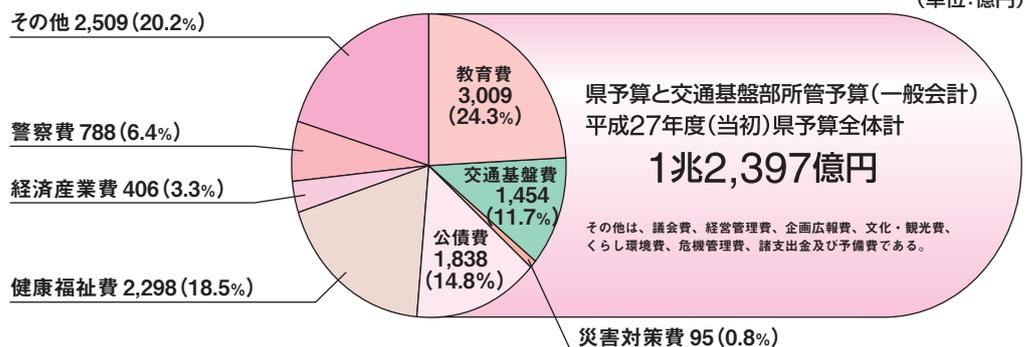
③ 国直轄事業費負担金 11億1,100万円(前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

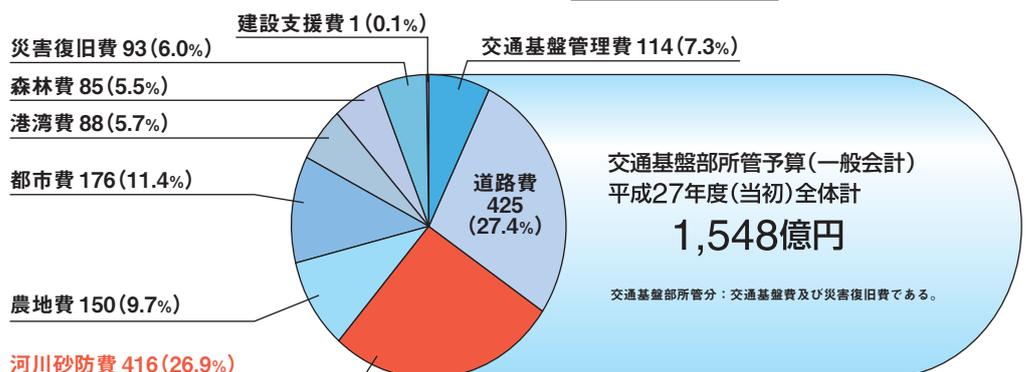
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と交通基盤部予算 (平成27年度当初)



● 交通基盤部所管別予算 (平成27年度当初)



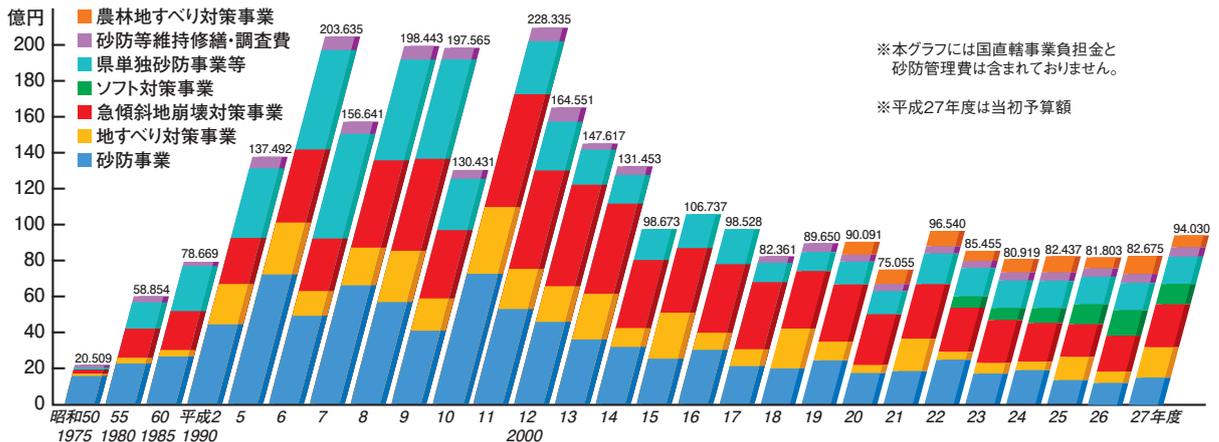
(単位:千円,%)

平成27年度砂防関係事業等予算額調書

事業名	平成27年度			平成26年度	
	当初 A	当初 B	最終 C	A/B	A/C
★砂防管理費(第1目)計	2,635	2,635	2,583	100.0	102.0
県単独					
砂防事業	75,000	75,000	75,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策事業	375,000	375,000	375,000	100.0	100.0
豪雨対策緊急整備事業※	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0
河川改良費(第2目)計	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0
津波対策緊急整備事業費		43,000	34,800	皆減	皆減
海岸費(第3目)計		43,000	34,800	皆減	皆減
一般公共事業					
防					
砂	577,500	539,700	559,670	107.0	103.2
防	415,000	504,000	460,300	82.3	90.2
砂防事業計	992,500	1,043,700	1,019,970	95.1	97.3
地すべり	378,000	381,150	361,440	99.2	104.6
地すべり対策				皆減	皆減
地すべり対策(住宅特治)				99.2	104.6
地すべり対策事業計	378,000	381,150	361,440	皆減	皆減
急傾斜	2,209,200	2,179,700	1,975,740	101.4	111.8
急傾斜地崩壊対策				皆減	皆減
急傾斜地崩壊対策(住宅特治)				101.4	111.8
急傾斜地崩壊対策事業計	2,209,200	2,179,700	1,975,740	皆減	皆減
総流防	94,500	31,500	31,500	300.0	300.0
緊急改築(砂防)	10,500			皆増	皆増
緊急改築(地すべり)	29,400	8,400	19,162	350	153.4
情報基盤緊急整備	1,102,500	1,086,750	1,399,350	101	78.8
基礎調査	1,236,900	1,126,650	1,450,012	110	85.3
総合流域防災事業計	400	400	480	100	83.3
効果促進事業(ソフト)	0	76,400	18,000	皆減	皆減
効果促進事業(調査)	4,817,000	4,808,000	4,825,642	100.2	99.8
防災・安全交付金計	75,000	74,000	69,439	101.4	108.0
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	84,000	84,000	84,000	100.0	100.0
特定緊急砂防	342,000	252,000	276,000	135.7	123.9
特定緊急地すべり対策	426,000	336,000	360,000	126.8	118.3
通常国庫補助事業計	257,000	257,000		100.0	皆増
災害関連緊急砂防	959,000	1,054,000		91.0	皆増
災害関連緊急地すべり対策	173,000	173,000		100.0	皆増
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	1,389,000	1,484,000		93.6	皆増
災害関連緊急事業計	6,707,000	6,702,000	5,255,081	100.1	127.6
一般公共事業計	407,000	422,000	407,000	96.4	100.0
通常砂防	64,400	59,600	49,100	108.1	131.2
地すべり対策	501,600	510,400	474,000	98.3	105.8
急傾斜地崩壊対策	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0
砂防	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0
地すべり対策				皆減	皆減
急傾斜地崩壊対策	30,000	30,000	30,000	100.0	100.0
災害緊急整備	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0
砂防	50,000	50,000	50,000	100.0	100.0
急傾斜地崩壊対策	60,000	60,000	60,000	100.0	100.0
緊急輸送路関連土砂災害対策	255,000	253,000	216,550	100.8	117.8
砂防等維持修繕	174,000	118,000	214,550	147.5	81.1
砂防等調査	11,000	11,000	11,000	100.0	100.0
砂防等台帳整備	1,503,000	1,464,000	1,462,200	102.7	102.8
生活環境整備事業計	64,000	50,000	48,015	128.0	133.3
施設整備	18,000	10,000	13,785	180.0	130.6
指定促進対策	82,000	60,000	61,800	136.7	132.7
急傾斜地崩壊対策事業費補助	1,585,000	1,524,000	1,524,000	104.0	104.0
砂防県単事業計	427,000	442,000	427,000	96.6	100.0
砂防	84,400	79,600	69,100	106.0	122.1
地すべり対策	633,600	620,400	585,800	102.1	108.2
急傾斜地崩壊対策	440,000	382,000	442,100	115.2	99.5
その他(維持修繕・調査)	1,585,000	1,524,000	1,524,000	104.0	104.0
県単独事業計	8,292,000	8,226,000	6,779,081	100.8	122.3
砂防費(第4目)計	216,000	212,000	220,800	101.9	97.8
農地地すべり	23,000	23,000		100.0	皆減
農地地すべり(災害関連分)	220,000	220,000	217,655	100.0	101.1
治山地すべり	65,000	65,000	436,139	100.0	14.9
治山地すべり(災害関連分)	524,000	520,000	874,594	100.8	59.9
農林地すべり一般公共事業計	63,000	58,000	58,000	108.6	108.6
県単農地すべり	74,000	71,000	71,000	104.2	104.2
県単治山地すべり	137,000	129,000	129,000	106.2	106.2
生活環境整備事業計	137,000	129,000	129,000	106.2	106.2
農林地すべり県単事業計	279,000	270,000	278,800	103.3	100.1
農地地すべり	294,000	291,000	288,655	101.0	101.9
治山地すべり	661,000	649,000	1,003,594	101.8	65.9
農林地すべり対策費(第5目)計	1,111,000	1,111,000	1,604,747	100.0	69.2
★国直轄事業費負担金(第6目)計					
合計	10,516,635	10,481,635	9,874,805	100.3	106.5
合計から★を除く	9,403,000	9,368,000	8,267,475	100.4	113.7

※河川改良費のH26は局地豪雨対策事業費、いずれも砂防関係事業のみに計上

砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、15,193箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、定や、住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソ

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成27年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	235		311	546	235		315	550	550
	東伊豆町	23	6	56	85	22		55	77	
	河津町	92	5	112	209	47		55	102	25
	南伊豆町	252	1	245	498	123		130	253	106
	松崎町	92	1	128	221	94		127	221	
	西伊豆町	86	1	116	203	87		124	211	211
	小計	780	14	968	1,762	608		806	1,414	892
熱海	熱海市	98	1	167	266	95		137	232	164
	伊東市	105	2	216	323	92		160	252	209
	小計	203	3	383	589	187		297	484	373
沼津	沼津市	116		169	285	104		139	243	245
	三島市	23		82	105			30	30	30
	御殿場市	30		7	37	30		7	37	37
	裾野市	44		38	82	43		34	77	5
	伊豆市	480	8	371	859	450		366	816	
	伊豆の国市	103	1	198	302	100		186	286	286
	函南町	32	1	74	107	2		9	11	11
	清水町	2		16	18	2		5	7	7
	長泉町	2		29	31			3	3	3
	小山町	47		61	108	47		57	104	71
	小計	879	10	1,045	1,934	778		836	1,614	695
富士	富士宮市	107	1	275	383	83		240	323	231
	富士市	57	1	168	226	33		151	184	156
	小計	164	2	443	609	116		391	507	387
静岡	静岡市	919	11	1,783	2,713	614		1,168	1,782	1,103
	小計	919	11	1,783	2,713	614		1,168	1,782	1,103
島田	島田市	198	26	493	717	133		358	491	206
	焼津市	24	1	48	73	25		48	73	73
	藤枝市	205	27	446	678	191		358	549	139
	牧之原市	44	2	320	366	15		213	228	228
	吉田町			6	6			6	6	
	川根本町	42		143	185	42		131	173	173
	小計	513	56	1,456	2,025	406		1,114	1,520	819
袋井	磐田市	66		211	277	65		197	262	227
	掛川市	134	11	881	1,026	128		733	861	685
	袋井市	32		220	252	29		173	202	139
	御前崎市	12		324	336	10		274	284	254
	菊川市	44		423	467	43		381	424	286
	森町	59	5	364	428	20		116	136	3
	小計	347	16	2,423	2,786	295		1,874	2,169	1,594
浜松	天竜区	292	66	898	1,256	282		871	1,153	
	天竜区以外	148	5	1,183	1,336	158		662	820	
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	440		1,533	1,973	851
	湖西市	2		181	183	2		161	163	131
	小計	442	71	2,262	2,775	442		1,694	2,136	982
合計		4,247	183	10,763	15,193	3,446		8,180	11,626	6,845

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法7条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijouhoumap.html>
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指
 注対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(平成27年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	29	17.7	258	45	17.4
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	8	21.1	60	17	28.3
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	11	9.2	1	1	100.0	131	40	30.5	251	52	20.7
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	22	28.6	149	30	20.1
	西伊豆町	64	17	26.6	1			67	18	26.9	132	35	26.5
	小 計	417	73	17.5	14	5	35.7	521	130	25.0	952	208	21.8
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	14	14.7	187	31	16.6
	伊東市	82	23	28.0	2	1	50.0	110	25	22.7	194	49	25.3
	小 計	173	40	23.1	3	1	33.3	205	39	19.0	381	80	21.0
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	70	54.7	224	90	40.2
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	10	43.5				24	6	25.0	47	16	34.0
	伊豆市	328	55	16.8	8	1	12.5	148	40	27.0	484	96	19.8
	伊豆の国市	74	4	5.4	1			82	31	37.8	157	35	22.3
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	21	56.8	72	31	43.1
小 計	596	112	18.8	10	1	10.0	522	195	37.4	1,128	308	27.3	
富士	富士宮市	66	16	24.2	1			81	23	28.4	148	39	26.4
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	31	56.4	104	48	46.2
	小 計	114	32	28.1	2	1	50.0	136	54	39.7	252	87	34.5
静岡	静岡市	540	127	23.5	11	3	27.3	654	294	45.0	1,205	424	35.2
	小 計	540	127	23.5	11	3	27.3	654	294	45.0	1,205	424	35.2
島田	島田市	83	17	20.5	26	7	26.9	132	69	52.3	241	93	38.6
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	27	39.1	27	7	25.9	117	60	51.3	213	94	44.1
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	24	42.1	72	38	52.8
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	川根本町	23	4	17.4				33	12	36.4	56	16	28.6
	小 計	201	66	32.8	56	18	32.1	367	187	51.0	624	271	43.4
袋井	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39	1	2.6	11	7	63.6	102	23	22.5	152	31	20.4
	袋井市	7						30	10	33.3	37	10	27.0
	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	菊川市	9	2	22.2		1		84	33	39.3	93	36	38.7
	森町	23	6	26.1	5	2	40.0	26	3	11.5	54	11	20.4
	小 計	99	10	10.1	16	10	62.5	308	90	29.2	423	110	26.0
浜松	天竜区	128	48	37.5	66	23	34.8	306	76	24.8	500	147	29.4
	天竜区以外	43	9	20.9	5	4	80.0	281	64	22.8	329	77	23.4
	浜松市計	171	57	33.3	71	27	38.0	587	140	23.9	829	224	27.0
	湖西市							54	9	16.7	54	9	16.7
	小 計	171	57	33.3	71	27	38.0	641	149	23.2	883	233	26.4
合 計		2,311	517	22.4	183	66	36.1	3,354	1,138	33.9	5,848	1,721	29.4

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流 I ■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所 I

土砂災害に対する

警戒避難体制整備促進の取り組み

1 土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害防止法に基づき、県では土砂災害警戒区域の指定を行っています。平成26年度は1,713区域を指定し、累計で11,626区域となっています（P6「あなたのまちの安全度」参照）。

指定箇所について、市町は、警戒区域毎の警戒避難体制に関する事項、要配慮者利用施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップ等の印刷物を作成・配布することになっており、平成26年度末までに6,845箇所58.9%が完了しています。

県は、ハザードマップの作成事例や「土砂災害警戒区域における警戒避難体制整備ガイドライン」を配布するなど、市町を支援しています。

指定区域は、砂防課・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防課ウェブサイトで公開しています。

警戒区域の指定と対応状況

(平成27年3月31日現在)

市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布	市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布
下田市	550	550	富士宮市	323	231
東伊豆町	77		富士市	184	156
河津町	102	25	静岡市	1,782	1,103
南伊豆町	253	106	島田市	491	206
松崎町	221		焼津市	73	73
西伊豆町	211	211	藤枝市	549	139
熱海市	232	164	牧之原市	228	228
伊東市	252	209	吉田町	6	
沼津市	243	245	川根本町	173	173
三島市	30	30	磐田市	262	227
御殿場市	37	37	掛川市	861	685
裾野市	77	5	袋井市	202	139
伊豆市	816		御前崎市	284	254
伊豆の国市	286	286	菊川市	424	286
函南町	11	11	森町	136	3
清水町	7	7	浜松市	1,973	851
長泉町	3	3	湖西市	163	131
小山町	104	71	35市町	11,626	6,845

2 「土砂災害・全国防災訓練」の実施：平成27年6月7日(日)

訓練は、集中豪雨等による土砂災害が発生した場合に備え、警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内35市町において実施します（平成26年度は住民や行政関係者など約2,900人が訓練に参加）。土砂災害警戒情報の発表後に住民が避難所まで避難するなど、実践的な訓練を主体に構成され、ハザードマップを活用した「避難場所」・「避難経路」の現地確認、要配慮者に対する支援、土砂災害防止講習会なども実施します。

3 土砂災害防止講習会等の実施

被災を免れるには、行政からの防災情報に現地の実況を加え、住民の「適切な判断と行動」が必要です。このため、土砂災害についての知見をいざという時に活用していただくよう、県では土砂災害防止講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害防止講習会の受講者の中から土砂災害危険箇所のある地区の受講者を「防災連絡員」として登録し、平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

県職員が説明に伺いますので、市町で実施している防災講座等に積極的に御活用してください。

平成26年度 土砂災害防止講習会

開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数
5月26日	松崎町	25人	6月1日 (訓練)	掛川市	30人	8月11日	御殿場市	50人	11月30日	島田市	150人
5月27日	南伊豆町	34人		袋井市	40人	8月31日	河津町	40人	12月21日	島田市	25人
6月1日 (訓練)	下田市	44人		森町	30人	9月7日	清水町	100人	1月31日	下田市	28人
	東伊豆町(1)	120人		浜松市(1)	60人	9月26日	裾野市	100人	2月23日	東伊豆町	60人
	東伊豆町(2)	40人		浜松市(2)	70人	10月22日	静岡市	80人	3月8日	下田市	10人
	西伊豆町	312人	6月8日	熱海市	80人	11月7日	島田市	35人	3月10日	下田市	25人
	伊東市	91人	6月12日	藤枝市	110人	11月11日	静岡市	35人	3月11日	下田市	25人
	函南町	100人	6月22日	伊豆の国市	30人	11月12日	東伊豆町	18人	3月12日	下田市	25人
	御殿場市	80人	7月5日	静岡市	350人	11月25日	松崎町	28人	3月16日	松崎町	133人
	裾野市	70人	7月22日	河津町	23人	11月26日	松崎町	30人			
磐田市	40人	7月24日	菊川市	40人	11月29日	島田市	120人				

4

活用しよう!! 「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」

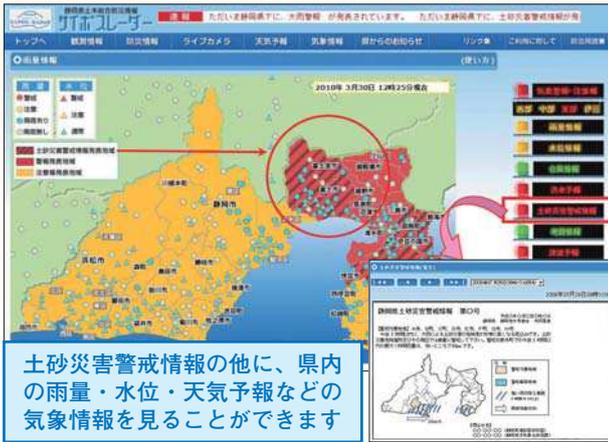
●土砂災害警戒情報を入力する!

土砂災害警戒情報は地デジ、パソコン、携帯電話等により入手することができます。土砂災害から命を守るためには、刻々と変化する気象情報をいち早く入手し、最新の情報をもとに行動を起こすことが重要です。

パソコンから入手!!

※サイポスレーダー (<http://sipos.shizuoka2.jp/>)

・土砂災害警戒情報の発表文をみることができます。

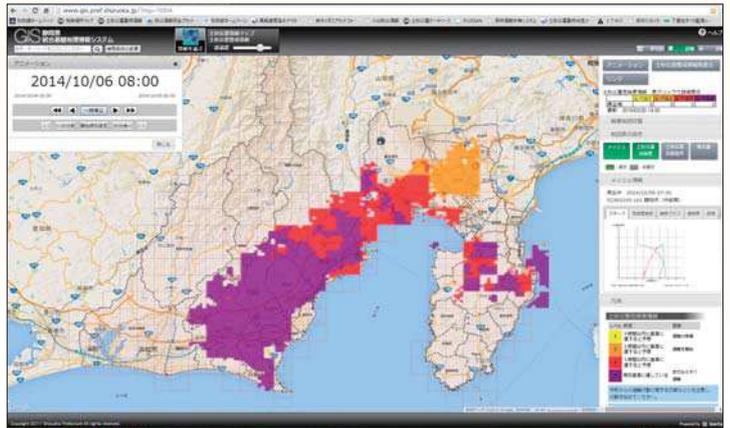


土砂災害警戒情報の他に、県内の雨量・水位・天気予報などの気象情報を見ることができます

※土砂災害警戒情報補足システム

(<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1>)

・県内市町の土砂災害危険度をみるすることができます。



携帯電話から入手!!!

※サイポスレーダー携帯版

(<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>)

・土砂災害警戒情報の発表文をみるすることができます。

下記コードを携帯電話で読み取ってください。



土砂災害警戒情報
8/10(月) 15:45
静岡県土砂災害警戒情報 第6号
平成21年8月10日
静岡県静岡地方気象台共同発表

【警戒対象地域】
伊豆市
【警戒解除地域】
焼津市、牧之原市

【警戒文】
《一部警戒解除》降り続いた大雨のため引き続き土砂災害の危険度が非常に高くなっています。土砂災害危険箇所及びその周辺では警戒を強めてください。



平成26年度に「土砂災害警戒情報補足システム」の改修を行い、利用しやすくなりました。主な改修内容は下記の通りです。

記

- ①土砂災害危険度メッシュの集計表 表示
 - ・各市町別に危険度メッシュの数が一覧表で確認できます。
- ②地図表示設定の改修
 - ・土砂災害危険箇所や降水量との重ね合わせがボタンで簡易に表示することができます。
- ③降水量区分の簡素化
 - ・降水量の凡例を青系統に統一し、6段階表示にし、見やすくなりました。
- ④リンク表の整理
 - ・リンクにその他の関連情報サイトを設けました。

5 手作りハザードマップで防災力向上を図ろう!

災害が発生する前に避難することは非常に困難です。しかし、「地域全体で避難する」ことにより、地域全体で災害を防ぐ事が有効な方法といえます。

この「地域全体で避難する」ため、地域全体での防災力を向上させる方法には、「手作りハザードマップ」作成が非常に有効な方法となります。

みなさんも、地域全体で危険な場所等を話し合い、「避難場所」や「避難路」を確認し、地域独自の「手作りハザードマップ」を作成してみてください。



H26年度 R-DIG訓練状況(藤枝市)

平成26年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成26年度に、土砂災害防止月間の一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、静岡県内では、55件の応募がありました。県内における地方審査と国の中央審査の結果、6作品が入賞しました。

3月26日(木)県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、野知静岡県交通基盤部長より入賞された皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と交通基盤部長、河川砂防局技監の集合写真



優秀賞の高橋勇斐さんの表彰風景

■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	学校名	学年	氏名
優秀賞(事務次官賞)	作文	静岡市立清水庵原中学校	3年	高橋 勇斐
静岡県知事賞	絵画	静岡市立長田東小学校	6年	山本 心
静岡県交通基盤部長賞	作文	富士市立岩松小学校	5年	佐野 元紀
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	絵画	富士宮市立富士見小学校	5年	望月 涼矢
	絵画	静岡市立安東中学校	2年	杉山 茉優
	絵画	磐田市立向陽中学校	3年	寺田 幸香

※学校・学年は応募当時のものです。

(敬称略)

静岡県知事賞〈絵画の部〉

静岡市立長田東小学校
6年 山本 心さん



全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈絵画の部〉

富士宮市立富士見小学校
5年 望月 涼矢さん



静岡市立安東中学校
2年 杉山 茉優さん



磐田市立向陽中学校
3年 寺田 幸香さん



優秀賞(事務次官賞)〈作文の部〉

「土砂災害にどう立ち向かうのか」 静岡市立清水庵原中学校 3年 高橋 勇斐 さん

僕の住んでいる静岡県は、世界文化遺産に登録された富士山や三保の松原があります。その他にも、きれいな山や海が見られる場所がたくさんあり、自然に恵まれた県です。

しかし、その反面土砂災害が起こりやすい県でもあります。昔から地震や台風などの影響で多くの被害を受けています。特に清水区の由比という場所では、記録が残っているだけで四〇回もの土砂災害が起こっていて、どれも深刻な被害を受けています。ここでは、特に被害が大きかった「寺尾地すべり」、「七夕豪雨土砂災害」の二つを紹介します。

まずは、昭和三六年三月に発生した「寺尾地すべり」についてです。東京ドームを埋め尽くすほどの大量の土砂が押し寄せ、当時の日本の大動脈である国道一号、東海道本線が埋まってしまいました。

二つ目は、静岡市では有名な昭和四九年七月七日に発生した「七夕豪雨土砂災害」についてです。台風八号による大雨で、土砂災害以外でも川の氾濫により、静岡市が水没するという被害もありました。この大雨により、地盤がゆるんだ山が崩れてしまいました。被害は、人家が全半壊、東海道本線七日間不通、国道一号二三日不通など、交通網が土砂で埋まってしまいました。この七夕豪雨で、死者二三人、負傷者二人にのぼりました。

この二つの土砂災害を調べて、いつ山が崩れてくるということが、わからないことが本当の怖さだと思います。現在も続いていることから人ごとではないということをお忘れしないでください。

さて、その大きな土砂災害から約四〇年たった今、土砂災害を防止するための設備、たとえ起こってしまっても被害を最小限に抑えるための設備があらゆるところにあるのを見かけます。このような設備だけではなく、インターネットやハザードマップなどでも土石流や急傾斜地の崩壊の「特別警戒区域」、「警戒区域」など細かな情報

を見ることができます。実際、僕が住んでいる家の裏山の情報も見ることができました。このように住民に情報が提供されていることは良いことでどこが危ないのかがよくわかって良いことだと思います。

しかし、情報だけでは実際に土砂災害が起こった時にパニックになってしまおうと思います。静岡県は東海地震が心配されているため主に行われるのは、地震や津波の避難訓練です。それも大事な訓練だと思ふけれど、たくさんの情報が分かっているなら、少しでも土砂災害の避難訓練を行ってほしいと思いました。そうすれば、人的被害を最小限に抑えることができると思います。

そして、最近テレビのニュースをみてよく思うことがたくさんあります。それは、大雨や台風が起きると毎年のようにいつまでも同じような被害が発生していることです。土砂災害を防ぐための設備は、砂防ダムや土砂の流出を防ぐさくなどたくさんあります。しかしその設備があるから「安全」と思い込んでしまって避難が不十分だったり逃げおくらせてしまったりして毎年多くの死傷者が出ています。気象庁や市役所などが必死に呼びかけているのになかなか避難しない人や「自分だけは大丈夫」と考えている人がたくさん亡くなっています。

このように、過去に何回も同じような被害を経験しているのにまた同じことを繰り返すのは、地震と同じで「災害は忘れた頃にやってくる」ということです。過去に経験した人々がいなくなり、次の世代になった時また同じ被害を受けてしまうと思います。

そして、繰り返し同じ被害を起こさないためにどこかで教訓を生かさなければなりません。しかし、それを生かすのは、気象庁や市役所の人たちだけではなく、日本に住んでいる人たちだと思います。たとえ土砂災害が起こってしまったとしても自分たちの命を守るのは自分です。どう対処するかを決めるのも自分です。災害に立ち向かう主役は国民全員だと思います。

静岡県交通基盤部長賞〈作文の部〉

「守ろう! とうとい命」 富士市立岩松小学校 5年 佐野 元紀 さん

八月二十日、広島市の土砂災害をテレビニュースで見ました。七十人もの住民がげせいになり、家をなくした多くの人がひなん所にいる映像が流れました。それまで幸せに過ごしてきた人たちが、何か悪いことをしたわけでもないのに、一しゅんで命を落したのです。とてもショックを受けました。

何でこんなにたくさんの命がなくなったのでしょうか? それにはいくつもの理由があるようです。

まず、一時間あたり百ミリ以上の大雨が真夜中に降ったことです。ひなんしようとしても暗くて逃げられないし、眠っていて気づかずに災害にあった人もいます。

第二に、テレビの映像を見ると山のすぐ近くの家がつぶれているのがわかります。コンクリートのかべや砂防ダムがなく、家が大きな石で押しつぶされたり、どろでうまっていた。

第三に「まさ土」というくずれやすい土も原因のひとつのようです。では、どうすれば大雨が降っても土砂災害にあわずにすむのでしょうか?

それは、ふだんから自分が住む土地の危険を知り、ひなんする場所を確認しておくこと、自分で雨の様子をテレビやインターネットなどから調べること、そして危ない時には早めにひなんすることが大事だと思います。でも、最近の大雨は、いつ降るのか予測がむずかしくなっている、とニュースで言っていました。だから危ない場所に住まないことの方が僕は大事だと思います。

広島県は土砂災害危険箇所が日本一多いと、インターネットで知りました。そこで、ぼくが住んでいる富士市松岡は、災害の危険があるのか調べたいと思いました。お母さんが「富士市防災マップ」を見せ

てくれました。この防災マップには、地しん、津波、富士山のふん火で危険な場所といっしょに、「土砂災害警戒区域」がのっています。それぞれの災害についての説明や注意することも書いてあります。

ぼくが住んでいる家はすぐ近くに山がなく、地図で見ると土砂災害も津波も、富士川の堤防がこわれてもそれほど危険ではないことがわかりました。安全だとわかり、ほっとしました。でもお父さんは、「たしかにこの家は土砂災害の危険はないかもしれないけれど、まわりには危険なところがあるから地図をよく見て覚えておいたほうがいいよ。」

と教えてくれました。すると、市内には何か所か「土砂災害警戒区域」が見つかりました。その中には、家族でよく行くショッピングセンターへの通り道もふくまれていました。富士山がきれいなながめられて大好きな場所です。まさかかづれる危険があるなんて思いもしなかったの、おどろきました。急に土砂災害が身近なものとして感じられました。

とうとい命を守るためにできることは何だろうか。自分なりに考えてみました。ぼくは、危険な場所に住んでいる人は、できるだけその場所から引越せばいいと思います。新しく家を建てるお金がない人は、安全な場所に建つアパートにみんなで住めばいいと思います。市や県が応えんしてくれるとっと引越しやすくなるかもしれません。

土砂災害が起きる集中ごう雨は、いつでも起きてもおかしくないようです。この富士市でも同じような大雨がふるかもしれません。だから、この広島で災害が起きた今だけではなく、これから土砂災害のこわさをわすれずに気をつけていきたいと思います。

牧之原市

牧之原市は、静岡県の中南部に位置し、牧之原台地を背に、東に駿河湾を望む自然豊かな市です。

牧之原市は豊かな自然と地理的条件に恵まれ、日本一の牧之原大茶園が広がっています。市内には茶園が広がり、安全・安心で高品質なお茶づくりが行われています。長時間蒸してつくられる深蒸し茶は鮮やかな緑色とまろやかな味わいが特徴です。

そして海岸部では、夏には多くの海水浴客やサーフィンなどのマリンスポーツを楽しむ若者で賑わい、毎年砂浜を周回コースにして行われるさがら草競馬大会は日本唯一のものです。また自然豊かな海岸では、毎年ウミガメが産卵に上陸します。

さらに、牧之原市にはその自然を活かした様々な魅力があります。

牧之原台地ではお茶、海岸一帯ではスイカや大根、芋切り干しがつくられ、港では伊勢海老やシラス、マダイなどの海の幸がたくさん揃います。

他にもドラマや映画、CMの撮影のロケ地にも牧之原の美しい景色が利用されています。

富士山静岡空港が開港し、陸・海・空、すべてと結ばれた牧之原市へどうぞお越しください。



牧之原台地の大茶園から富士山を望む

東伊豆町

東伊豆町は、伊豆半島東伊海岸の中央部に位置し、北に伊東市、西は遠笠山から万次郎・万三郎岳などの天城連山を境に伊豆市、南に河津町、東には、伊豆七島を望める相模灘に面し、東西15.04キロメートル、南北13.78キロメートル、総面積は、77.83平方キロメートルで、温暖な海洋性気候(平均気温15.7度)と豊かな自然環境に恵まれています。

町内には、稲取温泉、熱川温泉など6温泉郷があり、湯の香りと新鮮な海の幸を求めて、年間を通し、観光客が訪れ、初春には、稲取地区で開催される雛のつるし飾りは、この風習の発祥の地で、秋には、箱根の仙石原をしのぐ、すすきの大海原が壮観な、細野高原があります。

地形的には、一部の平坦な市街地を除き、町内の住宅地は、急峻な地形を背負い、土砂災害防止法における指定区域に囲まれ、常に土砂災害や地震に対する警戒が必要な地形の中で生活が営まれております。

東伊豆町では、対岸で発生した平成25年10月の大島集中豪雨や平成26年8月の広島土砂災害を教訓に、静岡県統合基盤地理情報システムの情報を活用し、早めの避難行動によって、町民の命が守れるよう心掛けております。また情報の提供につきましては、沼津河川国道事務所が新たに稲取地区内に設置する地すべり変位計などの観測情報が災害対策に活用できるよう期待しております。

最近の防災対策工事では、平成23年に完成した濁川砂防対策事業、平成26年度に完了した県単片瀬山下急傾斜対策事業があります。

町内には土石流、地すべり、がけ崩れなど危険な箇所は、数多く存在し、地域においては、防災対策工事によって、地区住民の安全の確保に努めなければならない場所もありますので、今後ともご協力をお願いします。



雛の吊し飾り



濁川砂防堰堤

平成24年1月16日完成

静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会を開催

1月21日(水)、静岡県砂防ボランティア協会の総会及び研修会を、クーポール会館(静岡市)で開催しました。総会では、事務局から、大内グリーンベルト作業会をはじめとした平成26年度の活動報告及び平成27年度の活動予定が、本橋会長から全国連絡協議会や砂防ボランティア全国のつどい(熊本県熊本市)の状況の報告があり、新規会員紹介の後、八木砂防課長による「静岡県の砂防を取り巻く状況」と題した研修を行いました。



総会の様子

東海地区砂防担当課長補佐会議が開催される

1月30日(金)、東海地区砂防担当課長補佐会議が、松阪シティホテル(三重県松阪市)で開催されました。

会議では、各県が抱えている課題について、活発な意見交換が行われました。

また、現場研修では、平成16年9月の台風21号により、町内9地区で同時多発的に災害が発生した、大台町(旧宮川村)の対策状況を視察しました。

この災害により整備された春日谷川の1号堰堤及び2号堰堤は、平成23年8月30日から9月4日の豪雨で発生した土石流732,000m³を捕捉し、下流での被害を未然に防止しています。



領内地区(地すべり対策)の状況

第11回富士山火山砂防計画検討委員会が開催される

2月9日(月)、富士市の富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」で火山や砂防の専門家、国土交通省、気象庁、静岡・山梨県の関係機関による「富士山火山砂防計画検討委員会」が開催されました。今回の委員会では行政関係機関が検討を進めている「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画(案)」について、基本編と対策編に分けることが了承され、今後、関係機関と調整し公表していくこととなりました。また対策編に盛り込む緊急対策カルテについて進捗状況の報告をするとともに、内容や表現方法について委員から助言を頂きました。



検討委員会の様子

中部ブロック土砂災害防止推進会議が開催される

2月12日(木)、平成26年度中部ブロック土砂災害防止推進会議が中部地方整備局(名古屋市)で開催されました。

この会議は、広島市での大規模土砂災害等の被害発生状況に鑑み、土砂災害防止法に関する施策の推進を図るため、今年度設置されたものです。

会議では、国土交通省から本会議の設置及び土砂災害防止法改正に伴う主な施策について説明があり、その後、「基礎調査の完了予定年と方針」、「警戒避難体制の充実・強化に関する取組み」について各県の考えを発表し、討議や意見交換を行いました。

● (一社)全国治水砂防協会各支部事務局員会議が開催される ●

2月18日(水)、一般社団法人全国治水砂防協会各支部事務局員会議が砂防会館で開催されました。

岡本理事長による挨拶の後、当協会の平成26年度の主要な事業報告等、運営事項について報告がありました。

その後、国土交通省砂防部三上砂防計画調整官から「砂防行政に関する最近の話題」と題し、平成26年の全国の土砂災害発生状況、広島市における土砂災害、御嶽山噴火、土砂災害防止法の改正、平成27年度予算決定概要等について情報提供がありました。

各支部事務局員にとって、砂防行政に関する最新情報等のお話を聞き、理解を深める大変有意義な会議となりました。

● 第55回砂防および地すべり防止講習会が開催される ●

2月19日(木)・20日(金)、「第55回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館で開催されました。

講習会に先立ち行われた赤木賞授与式では、鈴木雅一東京大学大学院教授をはじめ、功績のあった方々に各賞が授与され、「『土砂災害発生雨量研究』の進展と課題－砂防学の現代史の視点から－」と題して鈴木教授より特別公演が行われました。

講習会では、大野砂防部長の「これからの砂防行政の展開」をはじめ、東京都大島町長の「大島町台風26号土砂災害を踏まえた避難体制の構築と復興計画」など、幅広い分野の講演があり、今後の砂防事業の展開に関する話題提供がありました。



講習会の様子

● 第3回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議 ●

3月4日(水)、酒匂川・鮎沢川水系の河川、森林、砂防、ダム、堰、海岸等の管理者及び関係地方公共団体等による「第3回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議」が神奈川県庁で開催されました。この会議は、神奈川県が平成24年度に策定した「酒匂川総合土砂管理プラン」を受けて、治水・利水安全度を向上させながら、生態系に配慮した酒匂川水系の土砂環境の改善を目指すことを目的として平成25年度に立ち上げ、上流域の静岡県も参加しているものです。今回の会議では、今年度の流域内の土砂環境や各事業機関の対応についての報告がありました。



会議の様子

● 東海地区砂防関係事業担当者会議が開催される ●

3月11日(水)、東海地区砂防関係事業担当者会議が愛知県自治センター(名古屋市)で開催されました。この会議は、砂防関係事業(砂防、地すべり、急傾斜、基礎調査、区域指定など)の各県担当者が一堂に集まり、様々な問題点や取組みについての情報共有を行う目的で開催され、事業の枠を超えて担当者が集まる形式としては、初めての取組みになります。

会議では、砂防設備の維持管理、基礎調査の公表、会計検査の対応状況など、近年話題になることの多い様々な議題について、活発な意見交換が行われました。



会議の様子

スリランカ・ブラジル防災関係者が視察

3月17日(火)、国連防災世界会議(仙台市:3月14日~18日)へ参加されるスリランカ国家建築研究所長、ブラジル都市部長他2名が来静されました。一行は、平成15年7月の梅雨前線による集中豪雨で地すべりが発生した丸子逆川(静岡市駿河区丸子)を視察され、地すべり機構や対策工法の考え方等について熱心に質問されるなど、本県の地すべり対策についてご理解いただきました。



視察の様子

第5回富士山火山防災対策協議会が開催される

3月16日(月)、火山専門家、国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等の約70の関係機関による「富士山火山防災対策協議会」が沼津市のプラサヴェルデで開催されました。

協議会では昨年度策定した「富士山火山広域避難計画」の基本編に続き、今年度検討を進めていた対策編(案)についての審議を行い、概ね了承されました。

また、富士山における観光客や登山者の安全対策の検討体制の充実・強化のため、富士山世界遺産に関する部署、観光部署、消防関係部署、環境省、県教育委員会が協議会へ加わることになりました。



協議会の様子

第2回土砂災害対策緊急連絡会議を開催

3月16日(月)、「第2回土砂災害対策緊急連絡会議」を県庁別館5階西側危機管理センターで開催しました。

この会議は、昨年8月に広島市で発生した大規模土砂災害の直後に各市町の警戒避難体制の点検と改善策の抽出を目的として開催した「土砂災害対策緊急連絡会議」に続き、県と市町の間で土砂災害に対する警戒避難体制の整備について情報共有を図るものです。

会議では、県から市町に、土砂災害防止法の改正、土砂災害警戒情報補足情報システムの改善、警戒避難体制の緊急点検結果、内閣府の避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインへの各市町の対応状況について説明するとともに、土砂災害・全国防災訓練の実施方針について意見交換を行いました。



がけ協全員協議会が開催される

3月19日(木)、平成26年度全国地すべりがけ崩れ対策協議会専門部会第2回運営委員会及び全員協議会が、都道府県会館(東京都)で開催されました。会議では、今年度各専門部会で活動してきた内容や来年度の活動方針について話し合われました。

また、各県が抱えている疑問や会計検査情報など、意見交換し大変有意義な会議となりました。

なお、平成27年度の活動は、地すべり部会は、新規課題として「警戒避難体制の強化および災害時の初動体制の事例収集」と「地すべり緊急改築事業の事例収集」について検討していくこととなり、急傾斜地部会は、各ブロックより挙げられたテーマをアンケートを実施したうえで決定することとなりました。

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小・中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(月)～9月15日(火)
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部砂防課 砂防班
 TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ウェブサイトからもご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第8回 親子で大谷崩れの森づくり

日本三大崩れの一つでもある大谷崩。今から300年程前の宝永地震によって崩壊したと言われています。本来の自然を取戻すべく今もなお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩にみなさんの手で植樹し、植樹を通じて自然・山・水に触れて「いのちの大切さ」を学ぶことの出来る体験への参加をお待ちしております。

- 【募集人員】 30名 【日時】 平成27年5月23日(土) 9:00～16:00(小雨決行)
 【参加費】 無料(昼食は各自用意してください) 【集合】 静岡駅北口 8:45
 【問合せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL(054)246-7767

土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	村井達郎 磴ひかり
熱海	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	藤島政記 岩崎良輔
沼津	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	小野田紘貴 森田博
富士	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	本橋央行

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	山下高詳 池谷幸彦
島田	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	内田賢吾
袋井	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	伊代田尚志
浜松	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	石代隆 西ヶ谷圭祐



【表紙写真】
春光に輝く (撮影地:岩本山)
 影山 浩さん(静岡県沼津市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集後記

今年4月より砂防協会事務局員としてお仕事をさせていただくことになりました。望月紀江と申します。

今月号より「砂防だより」の編集作業を担当することになりました。皆様のお役に立てるわかりやすい誌面作りを目指すとともに、自分自身も砂防について学んでいきたいと思っております。

今後とも「砂防だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願い致します。ご意見・ご感想などございましたら、ぜひ下記までお寄せください。

砂防だよりは砂防課ウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第186号 発行日:平成27年4月15日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
 TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp

※電話番号が変わりました。